



令和4年11月2日発行

立山町教育センターだより 号外20

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

立山区域では、2学期の通常訪問研修会が終わり、本年度の通常訪問研修は終了しました。各校では、それぞれの課題に対して工夫を凝らしながら授業改善を図っておられる様子がうかがえました。昨日の舟橋小学校に引き続き、成果を紹介していただきます。

訪問研修を終えて⑦

高野小学校

研修主題 : 主体的に学び続ける児童の育成

本校では、学ぶ楽しさや達成感のある授業を通して、主体的に学び続ける児童の育成を目指しています。

学校訪問研修では、そのための手立てについて研修しました。

<明らかになったこと>

- ・主体的な学びにつながる手立てとして、ゴールを見据えた単元構想を示すことや児童が積み上げてきた学びを課題に生かすことが効果的である。
- ・具体物や画像・動画を効果的に使うと、児童一人一人の理解が進み、友達との考えの異同を明らかにすることができる。また、「分からない」と言える学級経営が基本となる。
- ・授業の終末では、分かったことと分らなかったことを整理し、児童自身が45分の中で学びを振り返り、次の学習への意欲をもつことも大切である。



<残された課題>

- ・学習課題は、児童が「やってみたい」「なぜだろう」等見通しをもち、興味関心を高めると同時に、本時のねらいに迫るものを児童と共につくり上げ、児童全員がその意味を正確に理解できることが重要である。
- ・話合いを深めるには、スタート時点で課題に関わる共通の土台が必須である。児童の思考の流れやつぶやきを大切に、どこを焦点化するのか見極めていく。
- ・学習の振り返りをする際には、時間の確保やその仕方について探っていく。本時の学びを実感できたり、次時への意欲につながったりするような振り返りになるよう研修を進めていく。

当日は、多くの助言の中で、高野っ子たちの姿から授業改善への方向性を示していただきました。今後の研修にも生かしていきたいと思いました。

文責 教務主任 富田 照子

